

破門処分について

空手各流派会館・関係者 各位

岸和田・貝塚支部

支部長 北島 悠悠

- 一、SNSによる他団体への誹謗中傷
- 一、南 豪宏首席師範(最高師範)や館長への名誉棄損的な内容
- 一、以上の内容については省略するが組織に対して協調・礼節に欠け、失礼極まりない発言等

白蓮会館の組織や指導者としてふさわしくないと判断したため、私一存の決意にて、白蓮会館岸和田支部長を解任する

尚 現在岸和田支部に所属する生徒や御父兄のみなさんへ、今後白蓮会館を続け大会にも参加したい方には新しく岸和田支部を開設するので移籍して下さい

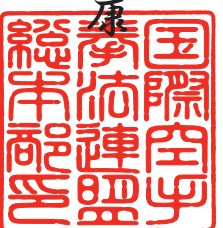
お問合せ先 090 8937 0890 杉原まで

令和四年六月二十四日

NPO法人国際空手拳法連盟

白蓮会館

宗師 杉原正康



白蓮会館は、一九八四年に設立、38年間の歴史と重みがある少林寺時代から東大阪柏田公民館、弥刀中学校体育館を経て私が28才の時銀行から借入れを行い常設道場を建立したその地が東大阪大蓮（おおはす・おばつじ）と言った。

私は少林寺時代白蓮隊の一員に任命され、拳技に白蓮拳と言うものがあり、大蓮と言う土地は蓮畑がたくさんあり泥の中から出てきて、清らかな美しい花を咲かせることから私は白蓮会館と名づけたのである。

大阪は東大阪から関西一円に広がり、関東や地方へと組織が癸展して行った。ほとんどが本部出身者である。

関西の支部長達が本部をささえて来たのは過言ではない。当時は士道館・正道会館・極真会館と全日本大会と名のつく大会はこの三流派がメインで私の実弟杉原弘章や南豪宏が極真に挑戦そしていろんな弟子が大会に参戦して好成績を重ねていった。北島もその一人である。

私が名付けたわけでなくメディアが白蓮カラテを

「最強の侵略者」と言うようになった。私はこの言葉がひしように気にいっている。

簡単に白蓮会館の沿革を述べたが、若手の支部長や指導員そして選手や生徒達に言っておきたい、組織の決まり事は守らなければならぬ、いつの時代になろうが武道の意義と本質は変わってはならない

北島悠悠の件については泣いて馬謖を斬る思いである